



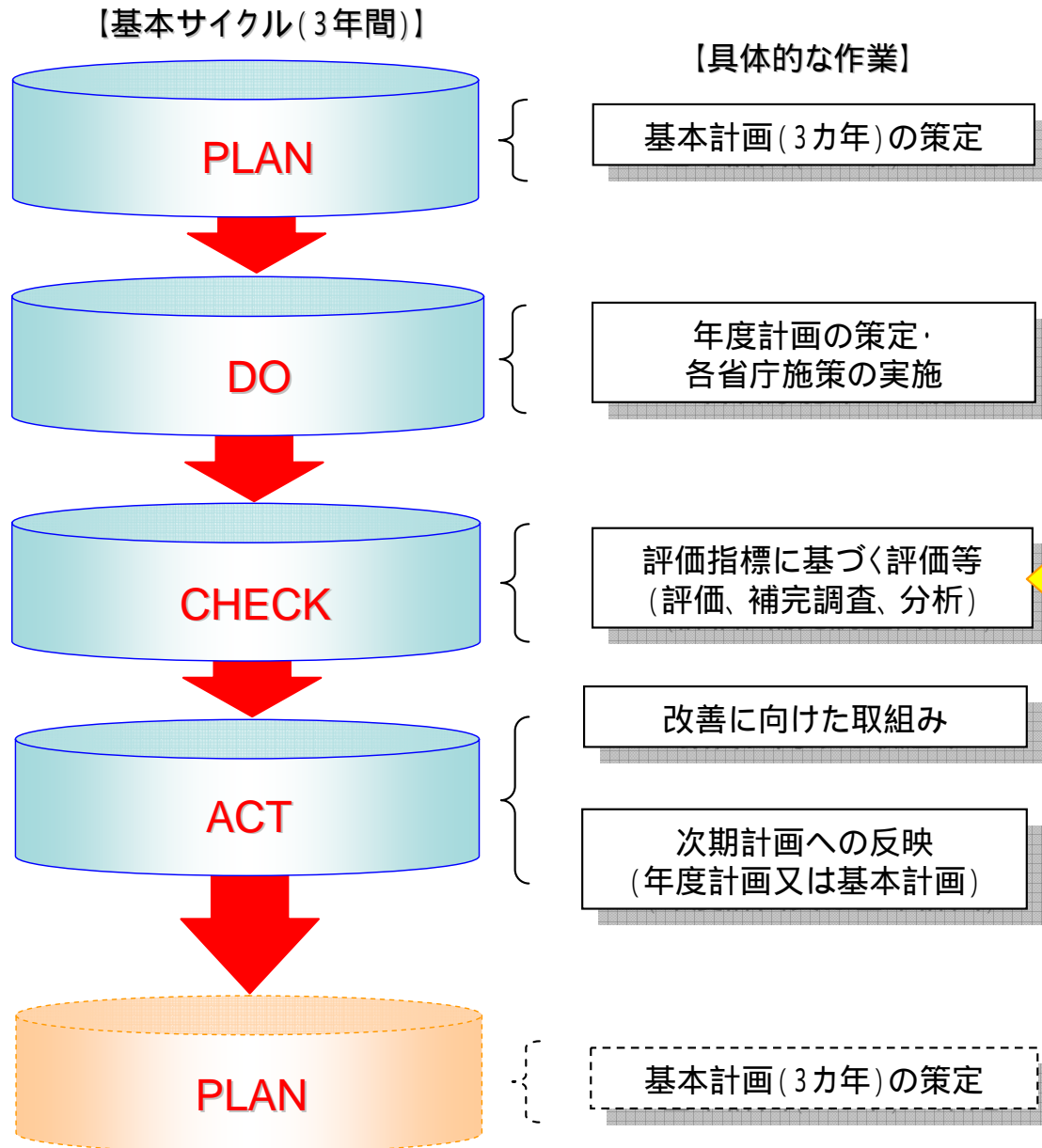
情報セキュリティ政策における 「具体的目標」の設定について

2007年8月3日

内閣官房情報セキュリティセンター (NISC)

<http://www.nisc.go.jp/>

情報セキュリティ政策のPDCAサイクルと今回決定する事項等の関係



今回決定すべき事項 具体的目標の設定

(参考)

「セキュア・ジャパンの実現に向けた取組みの評価等及び合理性を持った持続的改善の推進について」(平成19年2月2日政策会議決定)
 2 センターは、必要に応じて各府省庁の協力を得て、各評価指標に係る具体的目標を設定するとともに、評価指標の見直しを行うものとする。

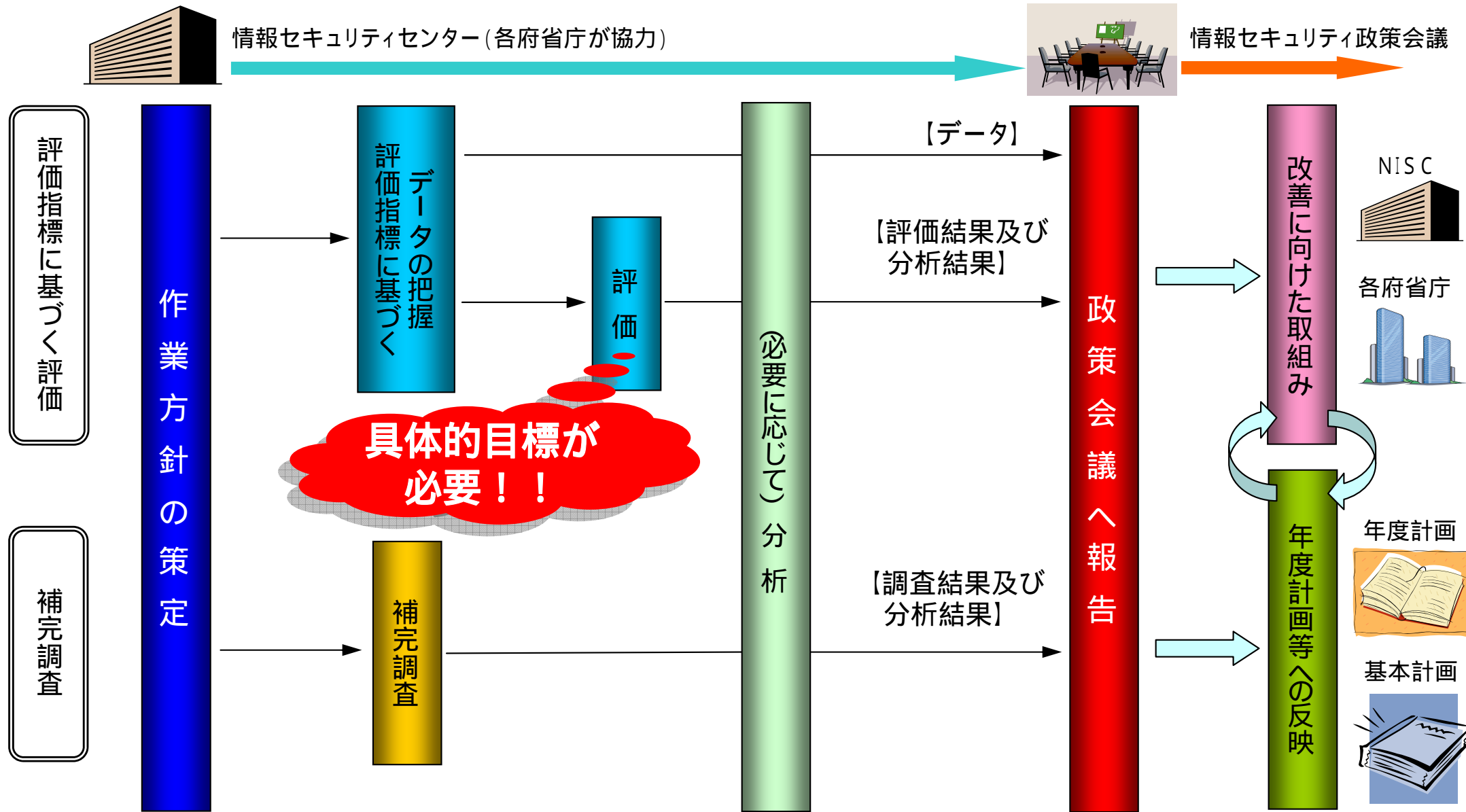
「情報セキュリティの観点から見た我が国社会のあるべき姿及び政策の評価のあり方」(平成19年2月2日政策会議了解)

(P37)...センターは、...可能なものについての数値目標の設定を含め、具体的目標の設定を行うこととする。

(P38)...センターは、2007年度の年度計画の策定後、必要に応じて各府省庁の協力を得て、すみやかに、第1次基本計画が目標とする時点における各評価指標に関する具体的目標を設定する...

(P39)図4 7月から8月にかけて、具体的目標の設定を行うこととされている

評価指標に基づく評価等の基本的な枠組みと具体的目標



具体的目標の設定(案)

政府機関・地方公共団体

対策実施指標

政府機関統一基準の基本遵守事項について、実施率を100%、把握率を100%にする。

マネジメント指標

マネジメント指標については、府省庁の優れた取り組みを定性的に(プラス)評価するという性質のものであるため、具体的目標は設定しない。

重要インフラ

行動計画で定めた4本の施策の柱それぞれについて、各年度ごとの目標(具体的取組み)に対する実施状況を把握し、その進捗度合いを指標とする。

実施状況を示すデータについては、下記に示す観点で指標を定め、具体的な調査方法等も含めた詳細について引き続き検討を進める。

- 重要インフラにおける情報セキュリティ確保に係る「安全基準等」の整備
 - 各重要インフラ分野において、「安全基準等策定にあたっての指針」に照らし適切である「安全基準等」が存在している。
 - 各分野における「安全基準等」に基づき、各重要インフラ事業者が情報セキュリティ対策を適切に講じている。

重要インフラ事業者の対策の自己検証状況

(例)安全基準等を認知している事業者等の数

- 情報共有体制の強化
 - 官民の情報提供・連絡体制が整備されている。
 - 各分野においてCEPTOAR(Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response「情報共有・分析機能」)が整備されている。
 - 各CEPTOAR間での情報提供・連絡体制が整備されている。

官民の情報共有体制の稼働状況

(例)情報提供が行われた件数(試験・訓練を含む) セブター
CEPTOARを構成する事業者等の数

- 相互依存性解析の実施
 - IT障害に関する相互依存関係を踏まえた必要な対応がなされている。
- 分野横断的な演習の実施
 - 演習等を通じ、情報セキュリティ対策の検証や見直し、更なる強化に向けた継続的な取組みが行われている。

相互依存性解析、分野横断的演習の実施状況

(例)解析・演習に要した時間・のべ参加者数 成果の活用状況

具体的目標の設定(案)

企業・個人

各指標毎に性質を異にするため、目標については個別具体的に検討することになるが、大まかな傾向としては、各指標を「意識に関する指標」「対策に関する指標」「インシデント又は犯罪の被害に関する指標」に分類、以下のとおり目標を設定することとする。

- ・ **意識に関する指標** …… 各統計を経年で観察、それが増加(若しくは減少)傾向で推移することを目標とする。究極的には、ほぼ100%(若しくは0%)になることを志向する。

(例) 情報セキュリティ上のトラブルの重要性の認識

…… 各項目について、「非常に重要である」と回答する者の割合が増加傾向で推移することを目標とする。究極的には、ほぼ100%になることを志向する。

- ・ **対策に関する指標** …… パソコンを利用する者なら誰でも取るべき対策に関する統計については、各統計を経年で観察、増加傾向で推移することを目標とする。究極的には、ほぼ100%になることを志向する。
体制整備状況を表す指標については、一定規模・一定数が維持されることを目標とする。

(例) ウィルス対策ソフト導入率

…… 「9割以上のパソコンに導入済」と回答する者の割合が増加傾向で推移することを目標とする。究極的には、ほぼ100%になることを志向する。

(例) ISMS認証の取得事業者数

…… 取得事業者数が一定の水準で増加することを目標とする。

- ・ **インシデント又は犯罪の被害に関する指標** …… 各統計を経年で観察、減少傾向で推移することを目標とする。究極的には、0に限りなく近づくことを志向する。

(例) 過去1年間の情報セキュリティに関する被害状況

…… 各項目について、減少傾向で推移することを目標とする。究極的には、0%に限りなく近づくことを志向する。

今後のスケジュール

